

第3回ロボコンジャパンカップ

ルール説明（個人予選）

1. ロボットについて

本体サイズ	タテ 35cmx ヨコ 35cm 以内(バケット部分の大きさを含む。バケットを下に降ろした状態)、高さ制限なし
足回り	キャタピラ仕様のみ。(キット付属車輪のみ使用すること)
モーター	[FA-130]のみ使用可能とする。(キット付属のモーターのみ) 改造されたモーターの使用は認めない。
電池	使用できるのは単二電池(2本)に限る。 改造などして単二電池以外の電池を使用する事は認めない。
バケット	ワンピースギアボックスによる駆動を条件とする。(キット付属のギアボックス) 規定内の本体サイズであれば、特に規制はない。

2. 基本ルールについて

1. 予選 ベストタイム方式（タイムトライアル 1人 2回走行）

- 規定のルートを通り、指定場所にピンポン玉を送り入れる。

※別紙コース展開図をご参照下さい。

- タイムの優劣によって順位を決定する。

- ・1回の制限時間は3分、ピンポン玉10個を指定場所に送り入れる。

全て入れ終えた時点のタイムを計測。(2回の走行で、良い方のタイムを記録とする)

- ・3分以内にピンポン玉を全て(10個)送り入れることができなかった場合、

記録は「5分」とし、その時点で入れた数により順位を決定する。

(2回の走行で、多く入れた方の数を記録とする)

- ・途中リタイアの場合は記録無しとする。(走行不能により3分が経過した場合)

※走行不能状態で3分を経過した際、既にいくつかピンポン玉を入れていた場合は、それまで入れた数を記録とします。

- 決勝大会進出は60位までとする。

※60位が複数の場合(タイムとピンポン玉の数が同じ場合)は60位全員を予選通過とする。

3. リトライについて

1. リトライの条件(予選)

- ロボットが故障した場合
- 競技者がリトライを宣言し、審判が認めた場合
- コースを間違えた場合
- その他、審判がリトライと判断した場合

注1) 以上の状態が発生しメンテナンスが必要な場合、選手は審判に理由を説明し、審判が認めた場合にメンテナンスゾーンにてメンテナンスを行い、リトライラインから再スタートする。

注2) ロボットが横転したり、キャタピラが外れたりして走行不能になった場合も、リトライラインから再スタートする。

2. リトライのやり方

選手が手を上げ「リトライ」と宣言する。



審判がリトライを認めた場合、手を上げ「リトライ」をコールする。



選手は各リトライエリアにロボットを移動する。(バケット先端をリトライラインにあわせる)



審判の「スタート」のコールで再スタートする。

3. 再スタートの位置

※コース展開図参照

4. メンテナンスについて

- ・メンテナンスの場所は、コース横に設置してあるメンテナンスゾーンにて行うこと。
(キャタピラ外れを直す程度であれば、コース上で構いません。)
- ・修理中も競技時間は経過します。(修理後はリトライ→再スタートとなります。)
- ・修理不可能の場合は棄権となります。
- ・競技中のメンテナンスは、選手が事前にメンテナンスゾーンに持ち込んだ工具を使用すること。
(競技中にメンテナンスゾーン以外の場所から工具を借りてくることも禁止です。審判やロボコンジャパンメンバーが貸し出しすることはありませんのでご了承ください。最初に貸し出している工具をメンテナンスゾーンに持ち込むことは OK です。)
- ・メンテナンスゾーンには、選手と立ち入りを許可された保護者 1 名が入ることができる。
それ以外の人の立ち入りや、ロボットに触れることも禁止する。
(無許可の人がロボットに触れた場合は失格となりますのでご注意ください。)

5. 失格行為

次の行為が認められた場合は、その時点で競技を終了とする(禁止行為を行った選手)

(選手の保護者または関係者が行っても同様にその選手の負けとする。)

- ・会場にあるコース上へ選手が故意に進入した場合や、コース及びコース上にある備品等を故意に破壊した場合
- ・ロボットを「1.ロボットについて」の規定以外の改造を行った場合
- ・競技中に選手以外の方がロボットやリモコンを持ったり、操作した場合(メンテナンスゾーンでメンテナンスを行う場合に限り、立ち入りを許可されている保護者が行う場合は OK。)
- ・競技中、リトライの時以外にロボットに触れた場合
- ・その他、審判が失格行為と判断した場合
(リモコンでロボットを引っ張ったり、試合中にわざと横転させたり、悪ふざけをした場合)

6. その他

- ・競技前のメンテナンスにおいては、指定のメンテナンス場所にて行ってください。
- ・競技中はコースや備品に接触する機会が多数あると思いますので、誤って破壊しないように注意してください。
- ・大会中は、みんなが楽しむためにルールを守り、マナーや礼儀などにも注意してください。